

笑ってごらん

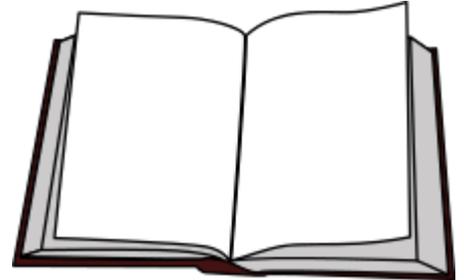
第 511 号 H. 27. 4. 29 発行

～今日のことば～

叱ってくれる人がいなくなったら、
探しても見つけなさい。

(放送作家・タレント・作詞家：永六輔)

◇◆いきなり問題！「テーブルの上に見慣れないノートがある。開いてみると、覚えはないが、どうやら自分の字である。そこに書いてある目標とノートの大きさを答えよ。」いわゆる心理テストというヤツ。ラジオネタである。考えてみて！ ◇◆先週土曜日午前中に万の瀬川の堤防路をウォーキングした。天気も良かったので、とても気持ち良かった。近くにウグイスがいるらしく、きれいな声で鳴いていた。「どこで鳴いているんだろう？」と見渡してみた。鳴き声の聞こえる方向からして、路から遠く外れ河川敷の茂みのあ



たりにいるのだろうと推測できた。「ムムッ！！」それまでは大変気分良く歩いていたのだが、一転して残念な光景を目にした。それは散乱したゴミ。車から投げ捨てられたものをカラスなどが喰い散らかしたものであろう。足下周辺を気をつけて見てみると、タバコの吸殻もあちこちにまとまって落ちている。これもまた車内の灰皿を空にした痕跡であろう。近くには『ゴミの不法投棄は処罰されます』の看板がある。『5年以下の懲役または一千万円以下の罰金』と表示。不心得な人がいることに残念な気持ちになった。 ◆人間の心理というのは恐ろしいもので、元々汚れていたり雑然としている所に対しては雑な気持ちで臨んでしまう傾向にあるようだ。草がボーボー生い茂っていたり、いろんな物が壊れて散らばっていたりするような所には、「既に汚いから・・・」とか「捨てても見えないだろう」などの意識が生ずるのだろう。私は地域の奉仕作業で道路・公園・河川敷などの清掃に協力することがあるが、草が刈られ綺麗になった所へは誰もゴミを捨てない。まずは、私達自身の心を綺麗に保つことから始めなければならない。「自分さえ良ければいい」という思いに基づく行動は、いずれ自分の身に大きな痛手となって返ってくるものと心得たい。 ◇◆もうすぐ看護学科基礎課程2年生の戴帽式である。今回も実行委員25名が素晴らしいリーダーシップを発揮し、練習にも熱が入っている。白衣がパンタロンタイプに代わって初めての戴帽式である。練習の際も何だか目新しい気分にも包まれた。本番まで引き続き頑張りたい。5月1日が素敵な1日となることを願っている。 ◇◆5月2～6日は連休となる。帰省する寮生、吹上浜砂の祭典ボランティアに参加する人、部活動に精出す人・・・、様々な予定があると思うけれど、くれぐれも「宿題が終わらなかった！」などということがないように！ ◇◆冒頭の心理テストのタネ明かしをしよう。見慣れないノートに書かれている目標は「自分がそうなったらいいなあと思っているが、なかなか現実化しないであろうと思っている事柄」。ノートの大きさは「その目標に対して今後頑張れば達成できる見込みの度合い」らしい。あなたの目標は達成されそう？

感謝道

◇◆校長室には先生方や生徒の皆さんが様々な書類を手に訪れる。当然、それぞれ「許可」の証明として「印鑑」がある訳だが、「ハンコ」と「印鑑」はどう違うのだろうか？ 何となく「ハンコ」より「印鑑」の方がフォーマルな感じがする。実はこの2つには明確な区別がある。「ハンコ」はハンコ本体そのものを指し、正しくは「印章」という。

「印鑑」はハンコの印影、つまりハンコが押された跡のこと。印（ハンコ）の鑑（かがみ）ということ。厳密には、印影の中でも、特に実印や銀行印など、自治体や銀行などに提出しておくものを印鑑という。したがって、「印鑑を押して下さい」などと言うのは間違った使い方。正しくは「押印（捺印）して下さい」となる。ちなみに「押印」と「捺印」の違いはない。【Facebook navi 連載コラム 2015-03-24 より抜粋転載】